

2コース レクチャー

包括歯科治療の勘所

一 審美、咬合、インプラント、矯正、歯周病、その手法とタイミング

ケース、白歯欠損部にインプラントを希望されても、矯正治療のゴールイメージとリンクしないケース、“銀歯”を白くしてほしいと要望されても、歯周病と歯牙の位置不良があるケースなどさまざまです。ある統計調査の結果によると患者は自由診療に対して理解があり、経済的な問題は無いとの報告もあります。総合的な診査診断に基づく包括的歯科治療を行うには、患者は大学の何科を訪れるべきだろうか？あるいは開業医を訪れるなら我々開業医は自分の得意分野だけで患者を満足させることができるだろうか？米国ではインターディシプリナリアプローチとして連携治療の歴史が古いですが、日本ではユニディシプリナリアプローチが未だに多く、インターディシプリナリアプローチが浸透していないのが現状です。がしかし、時代が求めている手法だと考えられます。機能回復と審美性改善のためにすべての治療計画は上顎中切歯のポジションから始まります。そのために様々な手技を必要とし、それらを駆使する計算と戦略が必要不可欠です。私はGPとして歯科治療に携わっていますが、そこから見た連携治療の必要性とその包括的歯科治療の勘所、アプローチの仕方をお伝えできればと思います。

日時

6月4日(日)
10:00~16:00

定員

60名

会場

大阪歯科大学天満橋学舎

対象

歯科医師
歯科衛生士
歯科技工士
学生

研修費

歯科医師(会員)10,000円
歯科医師(卒後5年までの会員)5,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)20,000円
歯科衛生士・歯科技工士5,000円
学生無料

講師

米澤 大地



[略歴]

1996年 長崎大学卒業
2003年 兵庫県西宮市開業
2014年 長崎大学歯学部矯正学講座非常勤講師

[所属学会所属スタディーグループ等]

長崎大学歯学部矯正学講座非常勤講師・日本臨床歯周病学会(理事 認定医)
A.O.(アメリカインプラント学会)会員・大阪SJCD副会長・近畿矯正歯科研究会 理事
SAFE 共同主宰・G.P.O. 主宰

◎天満橋学舎の会場地図



[著書]

SAFE Troubleshooting Guide Volume1,
機械・構造的合併症編,他院からのインプラントトラブル患者レスキュー,クインテッセンス出版,2016.
「圧下」のための歯科矯正用アンカースクリュー クインテッセンス出版 2015

参考近著(2015~)

米澤大地:咬合調整と咬合面形態,QDT Art & Practice,Voll.11,2005.

米澤大地,堀内克啓,野坂泰弘,寺本昌司(共著):SAFEエキスパートに聞くインプラント骨造成の「いろは」,

Quintessence DENTAL Implantology,クインテッセンス出版,Vol.22,No.1,19-32,2015.

米澤大地:KaVoにおけるトータルワークフロー,Quintessence DENTAL Implantology,クインテッセンス出版,Vol.22,No.4,24-27,2015.

米澤大地:これは矯正の革命か?歯科矯正用アンカースクリューテクニックを紐解く,ザ・クインテッセンス,クインテッセンス出版,Vol.34,76-88,2015.

高井基普,米澤大地,大森有樹,任剛一,本多正明(共著):シリーズ 歯の位置と形態の重要性を再考する1,補綴と矯正の境界線

1,歯科展望,医歯薬出版,128巻,1号,2016. 2,歯科展望,医歯薬出版,128巻,2号,2016. 3,歯科展望,医歯薬出版,128巻,3号,2016.

米澤大地:部分矯正で歯床の幅を広げよう,DENTAL DIAMOND,デンタルダイヤモンド社,Vol.41,No609,25-53,2016